

入居者さまに
お聞きしました

私たちのシニアライフ

山田民子様
の暮らし

安心感のある暮らしの中で、この先も豊かな人生を紡ぐ



たのしい会話に笑みがこぼれます

い始めたんです。自宅横の建物の二階をお稽古場にして、先生をお呼びして教室を開いたりしていました。暇な時間があるとなにか勉強をして、人のためにできることはないかという事は常に考えていました。

娘様…百人一首のかたるたや、健康体操などもしていましたね。体操は今でもお部屋でしているんでしょう？

民子様…ええ。夜中に目を覚ましたりしたときなんかにもちよこつと体操するのですが、もう癖になっていて。



やまだ たみこ
山田民子さま(82)と娘さま

Q 入居されたきっかけは？

山田民子様(以下、民子様)…以前は熊本県北部で夫と暮らしていました。家族からの勧めもあり、こちらの施設に見学に行ったところ、ひと目で気に入ってしまつて。これまでもずっと田舎で暮らしていました。なぜだかビビットときたんです。

娘様…一番初めのきっかけは、熊本市内にいらつしやる私の知人から「将来ここに入りたいて思っているから見てきてほしい」と言われ、私一人で見学に伺ったことでした。そのときはまだ、母が施設に入るといふことは全く考えていませんでした。でも、義妹に施設の見学に行った話をしたときに「もしかするとお義母さんに合うかもしれない」とハツとしたみたいで…改めて弟夫婦が見学に伺い、その後、母を連れて行きました。

民子様…入居してから2年ちよつとになります。誕生日の日に入居したんです。本当にご褒美のようだと思つています。

娘様…母は最近、グランガーデンの近くにあるフィットネスクラブにも通い始めたんです。先に私が通うようになり、母を誘つたんです。今年はフィットネスにもチャレンジしてみようと、機械の使い方を覚えて、週2回を目標にしています。

民子様…環境も良くて、時間も与えてもらっているし。それにまだ膝が痛くないから動きたくありません。散歩にもよく行きます。受付のスタッフに「今日はここに行つて、何時までには帰つてきます」と伝えて行くんです。「いつてらっしゃい」と見送ってもらえて安心して出かけられます。

Q 入居されて良かったことは？

民子様…ご時世的に施設内の催し物が行われないのが残念だけど、いつも心地よくて、ただただ感謝しています。

娘様…母は心配性なので、以前の家ではセキユリテイも付けてあるんですが、夕方に誰もいなくなると「裏から誰かくるかもしれない」と不安がることも。ここはセキユリテイもしっかりしているのので、気持ちの面でも守られている安心感があつて、あまり心配しなくなりました。

民子様…とても良い場所なので、私の知



家族みんなで民子様を見守っていらっしゃいます

娘様…当時は父も入院していて、私は母の住まいの片付けをしながら毎日のように病院に通っていました。旅行に行つたりはできませんでしたが、両親と私との最後の思い出になりました。その後は、母の新しい住まいの準備をしなければと、弟夫婦が入居の段取りを進めてくれました。家族のチームワークで決断したようなかたちでしたね。

Q 楽しみにされていることは？

娘様…母は長いこと「踊り」をしていたんです。

民子様…日本舞踊を10年間していました。ボランティアで老人ホームなどに行つて踊つたり、八千代座の舞台でも2回ほど踊つたんです。踊りは観るのも好きで、先日は花童という子どもたちの舞踊団の公演を一人で観に行きました。とてもかわいいんですよ。夫は会社経営をしていて、仕事でよく家をあけていたので、私もなにか家でできる趣味をと思

り合いや友人にも入居を勧めたいです。そういうことを考えるだけでわくわくします。

娘様…母は人と人を繋ぐことも好きなんです。人付き合いも上手で。相手のことを考えて、いろいろとお話していてもあえて踏み込みすぎなかつたり、誰かのお役に立つことばかり考えています。

民子様…誰かのお役に立ちたいとか、喜んでほしいとか、そういう気持ちがあるから、これからもそれを積み重ねていければと思つています。